

指定管理者管理運営状況（令和2年度～令和5年度）

指定管理者管理運営状況

| 年度 | 指定管理者 | 指定管理期間 |
|------|-------------------|--------------|
| R5年度 | 公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 | 令和3年度～令和7年度 |
| R4年度 | 公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 | 令和3年度～令和7年度 |
| R3年度 | 公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 | 令和3年度～令和7年度 |
| R2年度 | 公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 | 平成28年度～令和2年度 |

| 成果情報 | R2 | R3 | R4 | R5 | 備考 |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|----|
| 利用可能日数(単位:日) | 277 | 303 | 303 | 309 | |
| 年間利用人数(単位:人) | 32,499 | 26,217 | 27,563 | 39,542 | |
| 1日あたり利用人数(単位:人/日) | 117.3 | 86.5 | 91.0 | 128.0 | |
| 年間収入(単位:円) | 14,925,682 | 13,329,975 | 15,352,803 | 20,514,179 | |
| 1日あたり収入(単位:円/日) | 53,883 | 43,993 | 50,669 | 66,389 | |

| 収入・支出実績 (単位:円) | R2 | R3 | R4 | R5 | 備考 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|
| 収入① | 150,428,830 | 148,852,771 | 154,595,755 | 160,074,045 | |
| 施設利用収入 | 11,985,710 | 9,656,740 | 11,237,530 | 15,917,900 | |
| 指定管理料 | 134,180,000 | 134,180,000 | 137,891,884 | 138,099,000 | |
| その他収入 | 4,263,120 | 5,016,031 | 5,466,341 | 6,057,145 | |
| 支出② | 141,307,932 | 156,318,199 | 161,229,442 | 160,203,771 | |
| 人件費 | 65,425,572 | 67,891,708 | 68,710,513 | 67,909,615 | |
| 施設管理費 | 64,170,141 | 71,777,784 | 72,532,703 | 76,683,002 | |
| 事業費 | 11,712,219 | 16,648,707 | 19,986,226 | 15,611,154 | |
| 収支 ①-② | 9,120,898 | -7,465,428 | -6,633,687 | -129,726 | |

モニタリング実施状況(令和5年度)

| 報告書の別 | 内容 |
|-------|-------------------|
| 年度報告 | 年次事業報告(令和6年4月報告) |
| 月例報告 | 月例業務報告書(毎月報告) |
| 実施調査 | 令和5年11月、令和6年3月 実施 |

利用者ニーズの把握

| | |
|---------|---|
| 手法・実施時期 | 特別展、企画展の利用者満足度調査を来館者に実施 |
| 実施内容 | 入館者へのアンケート調査 |
| 調査結果 | <p>・アンケート調査の結果、展示の満足度について、満足、ほぼ満足を合わせて春季特別展で98%、秋季特別展で95%、夏季企画展で97%、冬季企画展で96%となっており、利用者は概ね満足しているデータとなった。</p> <p>【アンケートの主な声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長が好きで来ました。貴重な物がこんなにあるとは思っていませんでした。良かったです。 ・解説文が読みやすく良かったです。 ・安土桃山時代に関する資料を多めにしてほしい。 ・交通が不便な場所で開催している点が損失だと思う。 ・安土城を復元してほしい。 |

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・令和5年度は、展示内容を充実させるとともに、新型コロナウイルス感染症の5類移行や大河ドラマの影響もあり、入館者数や入館料収入がコロナ前の水準まで回復したものの、光熱費をはじめとした物価高騰により施設管理費等が増加し、依然として経営は厳しい状況にある。

・加えて、開館から30年以上が経過し、施設の老朽化が進行する中、修繕費が増嵩し、運営を圧迫していることから、大規模な設備改修や展示見直しが必要な時期となっている。令和5年度には、高圧受電盤等の点検、資料保管室空調機の更新、照明設備のLED化(エントランスホール等)を行った。今後とも、長期保全計画等に基づいて、計画的に設備等の更新を行っていく必要がある。

・なお、令和2年度に作成した滋賀県立安土城考古博物館展示基本計画において、「安土城・信長・戦国」をテーマとする展示リニューアルを行うものとされたことを受け、令和4年度に作成した第1期展示改修の実施計画に基づき、令和5～6年度に工事・展示替えを行い、令和7年春のリニューアルオープンに向け準備を進めていく。